

研究調査に興味をもってくださった先生方へ

ページを覗いていただき、ありがとうございます。調査の概要は、下記のとおりです。内容を読んでいただき、調査にご協力いただける大人のピアノ指導者の方は、ご連絡ください。

現在、成人のピアノ指導の研究は、まだあまり行われていないことから、多くのデータが必要です。また、実際の指導のなかで得られた生徒さんの生の声は、何にもまさる貴重なデータになります。是非よろしく願いいたします。

### 【調査の目的】

(故) 滝本裕造の「ピアノの基礎」をもとに作成した、大人のピアノ教材の適用性を調査すること

#### 「ピアノの基礎」とは

(故) 滝本裕造が大谷大学保育科の学生を対象に作成したピアノ教本で、「写譜」「暗譜」「移調」を基準とした指導法をもつ

### 【調査の対象】

20歳以上の趣味のピアノ学習者（保育者養成校の学生を除く）

### 【調査の方法】

指導者は、カリキュラム表を参考に学習者の進捗状況にあわせた指導を行い、学習者の反応や先生の感想を記載してください。なお指導者は、下記に記載する留意点をふまえて調査を行ってください。

#### 『調査の留意点』

##### ①指導者は学習者と話し合うことを中心にしてください

伴奏系の選択や宿題の内容・量などについては学習者が主導権をもち、指導者は学習者を援助する方向での指導を行ってください。また、学習者が「これはやりたくない」と言った場合、理由を聞き、どこがどうならやってもらえるかを尋ねてください。

##### ②学習者の過去の経験を尊重してください

過去にピアノ学習経験がある生徒の場合、癖がついていることがあります。それを短期で矯正しようとせず、「このような方法がありますよ」というように、紹介程度に留めてください。指使いについては、楽譜に記載してある番号が絶対ではありません。また、楽譜以外の伴奏系で弾きたいという希望があれば、そのように弾いていただいでください。

##### ③学習者の学習動機を探ってみてください

学習者がピアノをはじめた動機は知っていても、継続的にピアノを習う理由についてはよくわからない現状があります。そこで、「生徒はなぜピアノを習い続けているのか」ということに注目してレッスンを行ってください。

**【配布物】**

- ・カリキュラム表（レッスン5回分めやす）
- ・ウォーミングアップ楽譜（1部）
- ・レパートリー楽譜（きらきらぼし 3部）
- ・調査記入表

**【締切】**

調査開始後約3ヶ月程度（適時、進捗状況をお伺いします）

**【謝礼】**

申し訳ありません。無償となります。ただし、頂いた調査結果はとても貴重なデータになりますので、慎重に扱わせて頂き、論文がまとまった暁には学会発表や学会雑誌に投稿し、研究結果を社会に発信したいと考えております。

また将来、きちんとした形で教材を作成し公表する機会がありましたら、協力者として先生方の御尊名を記載させていただきたいと考えております。

三上香子（MIKAMI Kyoko）

携帯：090-3862-5949

メール：mikanpiano@grupo.jp